

日本共産党

06.4.19

東海村議員団ニュース

暮らしの相談お待ちしております

永井 一郎

(282)2684

大名美恵子

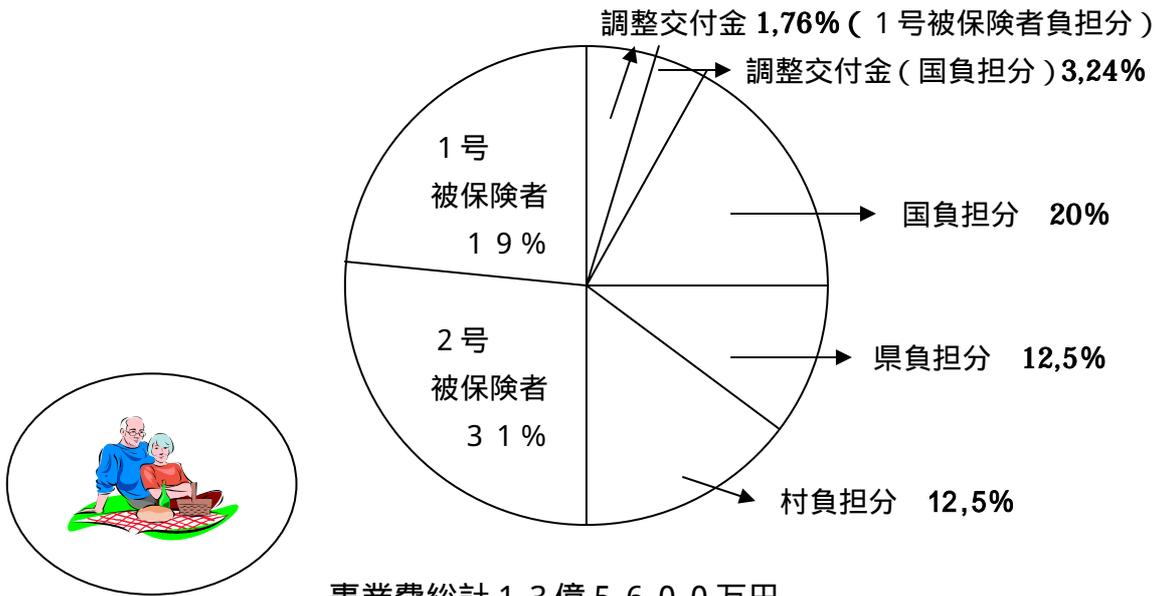
(284)0761

介護保険料 また上がる、平均2830円が3980円に！

3月定例議会が閉会し、実施後3期目の介護保険料が確定しました。2期目との比較では40,6%アップ、1ヶ月あたり1150円の引き上げと、県内でも高位クラス(第2位)に入ってしまった。

所得税の老年者控除が廃止され、特別減税は06年度、2分の1になるなど、生活のあらゆる分野で住民の負担増が押しつけられようとしている中での今回の大幅引き上げです。家計はますます圧迫されます。

介護保険会計のしくみ



事業費総計13億5600万円

1号被保険者 65才以上の人 生涯納めなければなりません

2号被保険者 40才から64才までのすべての人

他市の状況はどうなっているでしょうか(新しい保険料)

水戸市3880円 ひたちなか市3400円 那珂市3550円

守谷市4514円 日立市3150円 常陸大宮市3600円

常陸太田市 3650円 県平均 3477円

負担割合を変更してはならない

政府は、介護保険実施にあたり国・県・村・第1号被保険者・第2号被保険者の負担割合を変更してはならないと行政指導を強力に行い資金不足の場合にと貸付制度を設けています。



—— 障害者「自立支援」法実施にあたっての本村の対応は？ ——

「応益負担」により、障害が重くサービス利用が多い人ほど負担が大きいなど、関係者の強い反対表明の中成立した「支援」法。4月1日から自立「支援」医療、入所者の水・高熱費及び食費の実費負担が始まり、10月1日からはサービス利用の1割負担などが実施。自治体における自己負担軽減策や関係者の声を十分反映させながらの実施が重要になっています。大名美恵子議員は、寄せられた声を反映し村の対応を伺いました。

障害程度区分審査会に当事者意見の反映を、また直接、意見表明の機会を！

(答弁) * 審査会委員については、障害保健福祉の学識経験を有する者で、中立かつ公平な立場で審査が行える方々を人選したい。

* 国の提示もあり、審査対象者及び家族、医師、認定調査員などの意見を聞くことができるよう規則に盛り込み、公平・中立的な判定ができるようにしたい。

サービス利用抑制や後退に繋がらないよう村独自の支援策を講じること！

(答弁) * 村独自の支援策については、国の同行を踏まえて検討をしていきたい。

障害福祉計画策定で実態やニーズを的確に把握し整備目標を十分に！

計画策定に当事者も参画できるように！

(答弁) * サービスの事業量や達成目標の数値化などがもりこまれるが、当事者のご意見などを取り入れながら策定していきたい。

保険料引き下げのため一般財源を投入

—— 千葉県浦安市 ——

浦安市では、保険料を抑えるために12,5%市負担分のところ、新たに1億6450万円を投入し、予定していた4533円を3780円に決めました。...永井一郎議員は議会でこの例を紹介し、「本村は80億円もの基金財源を保有している。住民負担軽減のためさらに一般財源を投入すべきではないか。」と迫りました。

福祉部長は、「基本的な枠組みをはずして一步を踏み出すには、それなりの理由が必要と考えています。」と答えました。